

今夏(7、8月)の電力需給実績について

平成29年9月22日
北陸電力株式会社

当社は、今夏の当社エリアにおける電力需給実績について取りまとめましたので、お知らせいたします。

当社は、志賀原子力発電所の運転停止が継続する厳しい需給状況の中、安定供給の確保に努めてまいりました。

今夏の需給については、七尾大田火力発電所2号機の定期事業者検査の期間延長などもあり、一時的に予備率が低下する局面もありましたが、卸電力取引所等からの供給力確保に努めたことやお客さまによる節電が定着したことなどにより、結果として安定した電気をお届けすることができました。

今後も気温影響や大型電源のトラブルなどの不確定要素を考慮すると、厳しい需給状況となるため、当社としては電気設備の保守点検を確実に実施する等、引き続き電力の安定供給に努めてまいります。

お客さまにおかれましては、電気の効率的なご使用にご協力を賜り厚く御礼申し上げますとともに、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

以上

別紙：今夏の電力需給実績の概要

今夏の電力需給実績の概要

2017年9月22日
北陸電力株式会社

こたえていく。かなえていく。北陸電力

1. 今夏の需給バランス

1

- 今夏(7、8月)の北陸エリアの最大電力は、7月21日(金)14時～15時の502万kW。
- 当初の需給見通しでは猛暑となった場合の最大電力を522万kW、平年並みの気温であった場合の最大電力を498万kWと想定。
- 供給面では、火力発電所の定期事業者検査期間延長等により、同日の供給力は576万kWと、当初見通しより17万kW下回ったものの、15%の予備率を確保。
- 今夏の北陸エリアにおいて予備率が低かったのは7月20日(木)の7.7%。

[万kW]

	7月見通し		最大電力発生日 7/21(金)実績	予備率低下日 7/20(木)実績
	猛暑ケース	平温ケース		
供給力	593	593	576	528(20)
最大電力	522	498	502	490
予備力	71	95	74	38
予備率	13.7%	19.0%	14.7%	7.7%

(参考)今夏の予備率最小日8月24日(木)の6.4%(バランス停止中の火力発電を供給力に含めた予備率は15.6%)

※見通しにおける「平温ケース」は平成29年度供給計画値、「猛暑ケース」は供給計画値を基に猛暑による需要増を考慮

※予備率低下日の供給力欄括弧内は、取引所取引にて調達した供給力を再掲

※実績については一部推計値含む

こたえていく。かなえていく。北陸電力

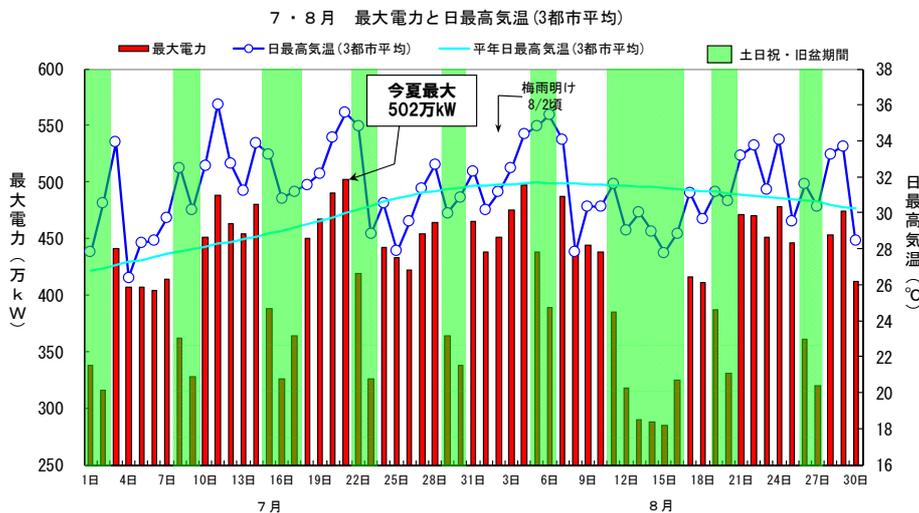
2. 最大電力および最高気温の推移（7月～8月）

2

- 7月は、8月と比べ、猛暑日(日最高気温35℃以上)、真夏日(同30℃以上)がともに多く、平均気温も高かった。このため、今夏の最大電力は7月に発生した。(今夏最大502万kW)
- また、猛暑日が土日に重なったことや、曇りや雨の日が多かったことから、今夏の最大電力は猛暑想定需要を下回った。

<最大電力(エリア送電端)と気温の推移(3都市平均)>

<最大電力[エリア送電端]と気象状況の推移>



■猛暑日(最高気温35℃以上)

	7月	8月	計
H29	2.7日	2.0日	4.7日
H28	1.7日	1.7日	3.4日
平年	1.2日	2.9日	4.1日

■真夏日(最高気温30℃以上)

	7月	8月	計
H29	22.3日	21.0日	43.3日
H28	17.7日	27.0日	44.7日
平年	13.7日	20.8日	34.5日

■平均気温比較

	7月平均気温	8月平均気温
H29	27.2℃	27.1℃
H28	26.2℃	27.4℃
平年	25.3℃	26.9℃

※猛暑日、真夏日、平均気温は3都市(富山市・金沢市・福井市)平均

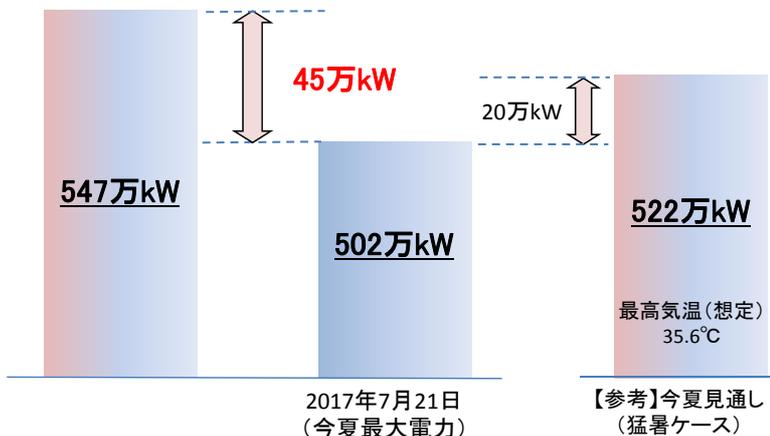
こたえていく。かなえていく。北陸電力

3. 2010年度最大電力実績と今夏最大電力との比較

3

- 猛暑であった2010年度最大電力実績(547万kW)と今夏最大電力(502万kW)との差は▲45万kW(気象影響▲21万kW、景気影響+4万kW、節電影響等▲28万kW程度)であった。
- 節電等については、当初見通しとほぼ同等の▲28万kWの効果があったことから、節電が定着していると考えられる。

<2010年度最大電力実績と今夏最大電力との比較>



■最大電力低下(2010年度・当初見通し比)の内訳

	2010年実績と今夏実績の差	<参考>当初見通しと今夏実績の差
気象影響	▲21万kW程度	▲21万kW程度
景気影響※	+4万kW程度	+1万kW程度
節電影響※等	▲28万kW程度	0万kW程度

※：景気影響、節電影響等は最大電力上位3日平均で分析した数値

こたえていく。かなえていく。北陸電力

4. 予備率低下日（7/20）の状況

4

- 七尾大田火力発電所2号機(70万kW)が定期事業者検査の期間延長(※1)により停止していた(7/20)については、予備率が低下。(予備率7.7%)
- 同日は、計画的に卸電力取引所等から供給力を調達できたことから結果として安定供給は確保できたものの、仮に電気の使用量が多い時間帯や全国的に電気の使用量が多くなる時期(8月)に大型電源が脱落した場合、今回のように卸電力取引所等から供給力を確保することができない可能性もあった。

■卸電力取引所から供給力(20万kW)を調達できなかった場合の需給状況(7/20) [万kW]

供給力	最大電力	予備力	予備率
508	490	18	3.7%

- 更に、他の火力発電がトラブルで停止した場合、予備率がマイナスになる可能性もあった。
- 以上のことから、志賀原子力発電所が停止している中、気温影響や大型電源のトラブルなどの不確定要素を考慮すると、今夏においても厳しい需給状況であった。

■予備率の実績(7・8月の平日)

	5%未満	5%以上 8%未満
H29	0日	5日
H28	0日	6日
H27	0日	0日

※土日祝・旧盆期間(8/14~16)を除く

※1 今夏(7・8月)における定期事業者検査の期間延長実績

敦賀火力発電所2号機

(延長期間)7月9日~7月12日(3日間)
(延長理由)ボイラー管内面のスケール付着に伴う追加点検

七尾大田火力発電所2号機

(延長期間)7月9日~7月25日(16日間)
(延長理由)ボイラー内部での蒸気漏洩に伴う補修

こたえていく。かなえていく。北陸電力

以 上

こたえていく。かなえていく。北陸電力